

# 2017年3月号 FP武蔵野グループ



今村幸雄（NPO 法人 F P 武蔵野グループ代表）

## 自由貿易のグローバル時代は正しい選択だったのか

昨年後半から世界の動きに大きな変化が起きている。イギリスのEU離脱の国民投票に始まり、アメリカではトランプ大統領が就任した。今年にはオランダの総選挙から始まり、間もなくフランスの大統領選挙、年度後半にはドイツの総選挙などが控えている。EUの崩壊につながる懸念も強まっている。

こうした一連の流れで勢力を伸ばしているのが、俗に極右勢力と呼ばれ、自由貿易を否定して人種差別的発言をする政党であり人物である。彼らはポピュリストとも呼ばれ、国民に受けの良い発言を繰り返し、世界を間違った方向に向かわせていると報道されている。このような勢力が拡大した理由として、知識人やマスコミは、貧富格差の拡大と移民問題を挙げている。その上で、ポピュリストたちが主張する保護主義的政策や人種差別的発言は世界を間違った方向に導くものだとして非難している。この主張は矛盾していると考えるマスコミや知識人は皆無と言ってよい。今月のメルマガは、私たちが正しいと考えてきたことが本当に正しかったのか、今知識人やマスコミが盛んに主張していることが正しいのか考えてみたい。

格差社会がこのような現象を生んでいるという主張は正しいとして、人口の1%が富の半分を支配するような社会になった原因は何なのか、若者が世界的にみても、良い職業につけないようになり、先進国では少子高齢化社会が進んでいるのはなぜかという分析がされていない。

一言で言えば、俗にグローバリズムと呼ばれる、自由貿易によって資本が世界的に移動し、世界各国の政治的規制が効かずに膨張し続けたことが大きな要因である。もし、世界各国が保護主義を引いて、自国市場によそから商品や資金

を受け入れなかったらこんなことにならなかったはずである。にもかかわらず保護主義が悪いという根拠は何か。世界貿易が縮小して不景気に成ると主張する。それって本当ですか？リーマンショックを始め、最近の不景気の原因は、自由貿易によって資本が自由に移動することで、良いと思われる市場に大量に資本が流れ込み、またある日突然、もっと良いと思われる市場があればすぐにそちらに移動するというバブル崩壊が起きやすい仕組みが不景気を生んだのではないか。各国の政府の立場が強ければ、こんなことは規制できたはずである。

**保護主義万歳、自由貿易こそ人類の敵だ！**

政府の規制をなくして企業が自由に活動する政策が正しいなんて平気な顔をしていう知識人がいる。きっと道路から交通規制や信号をなくせば、道路を自由に走行でき効率的だと言っているのと変わらない論理である。そんなことをすれば、ぶつかっても平気な大きな車が入り込み、小型車を駆逐して走り回る世界になるだけである。一部の企業と呼ばれる大型車の自由を保障することが正しいのか。**規制こそ国民や中小企業を守る唯一の手段だ！**

資本主義で経済の発展は、GNPの増加だという理論が正しいなら、最近の経済成長率の高い国はどこか？そう私たちの隣の大きな国、最近では軍事費も世界第2位になっている国、最も少数民族を虐待している国、その国って自由貿易の国なのか？経済は資本主義、政治は共産主義なんて言っているけど、平気な顔して株式市場に介入し、企業の規制から通貨の介入まで何でもありの自由貿易とは程遠い国が成長ナンバーワン。昔、日本も保護主義で、国の規制だらけだった時代は、日本の奇跡なんて呼ばれて、すごい成長率を誇っていたのに。グローバル化して自由貿易こそ正しい、規制撤廃なんて言った途端に成長は止まってしまった。**自由貿易は経済成長率にマイナスである！**

EU域内は、パスポートもいらず原則自由に移動できる、アメリカは世界各国から自由に人を受け入れてきた移民の国、だから経済が発展し、新しい可能性が生まれている、これも本当ですか？世界で最も移民を受け入れない国の一つである日本は、世界的に見てそんなに後進国なのでしょうか。お蔭で治安は良いし、あまり移民に職を奪われたなんて話を聞かない国は、そんなに劣った国なのか。そう考えれば、**よその国から難民や移民あるいは生活に困っている人を受け入れればいいのではなく、バランスを保つべき！**

トランプ大統領の政策って何が悪いのでしょうか？

ロシアと接近するのが悪い？両国が手を取り合って、自国は差別と独裁体制なのに、世界が自由貿易ということを利用して、G2（世界の2大大国）なんて主張している国を黙らせてもらいたい。

世界は急激に変化しています。勿論、保護主義は行過ぎれば戦争の要因にも

なります。これは歴史が証明していますが、今回と同じような現象は、20世紀の初めにも起こっているのです。歴史的に見た今回の現象の話は、次回に譲りますが、今度、講演で歴史を踏まえて、今後の世界がどうなっていくかの話をしたいと考えています。このメルマガは、テレビや新聞がまことしやかに書いていることが如何にいい加減か。ポピュリズムが悪いというけれど、1%の人のために99%の人が犠牲になる政策が正しいのかよく考えてみる必要があります。是非、みなさまも世界で起こっていることの原因を新しい目線で考えていただければと思います。

以上